

令和 7 年度第 13 回役員会議事要旨

日 時 令和 7 年 11 月 11 日（火） 9 時 00 分 ～ 9 時 50 分
場 所 事務局大会議室
出席者 齋藤、北島、酒井、鳥海、會澤、鈴木、高木、水野
(監事) 長津、宮林
(オブザーバー) 関根、林、張、豊岡、中

議 事

1 議事要旨の確認

学長から、令和 7 年度第 12 回（10 月 28 日開催）役員会議事要旨について確認があり、承認した。

2 審議事項

- (1) 金沢大学と北陸先端科学技術大学院大学が連携して実施する文部科学省「未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業」における共同事業協定の締結について
鳥海理事及び濱谷学務部長から、共同事業協定の締結について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。なお、協定書の日付は、当該事業認定日をもって締結することとしている旨の説明があった。

鈴木理事から、当該事業の参画に際して、本学へは直接の事業費配分は無いことについて説明があった。学長からは、この参画を通じて先導的な取組から、本学に取り入れる仕組みを学びたい旨発言があった。

3 報告事項

- (1) 令和 8 年度における医学部医学科の入学定員について

北島理事から、医学部医学科の入学定員について臨時の定員増員申請を認める旨の通知が文部科学省からあったことから、令和 8 年度についても医学部医学科 10 名の入学定員増（入学定員合計 105 名）を決定とする報告があった。

- (2) 「医療事故調査制度」の対象事案について

北島理事から、附属病院にて発生した「医療事故調査制度」の対象事案について、院内医療事故調査委員会が終了した旨報告があった。なお、医療に係るガイドラインの改訂等がなされた場合は、速やかに対応することを確認した。

4 その他

学長から、今後の社会情勢や国の政策の方向性を踏まえ、本学大学院や文系定員に関する大学運営の戦略等について、学内で認識を共有することの重要性を確認した。今後、学部状況を考慮し、効果的な方策を推進するとした。

以 上